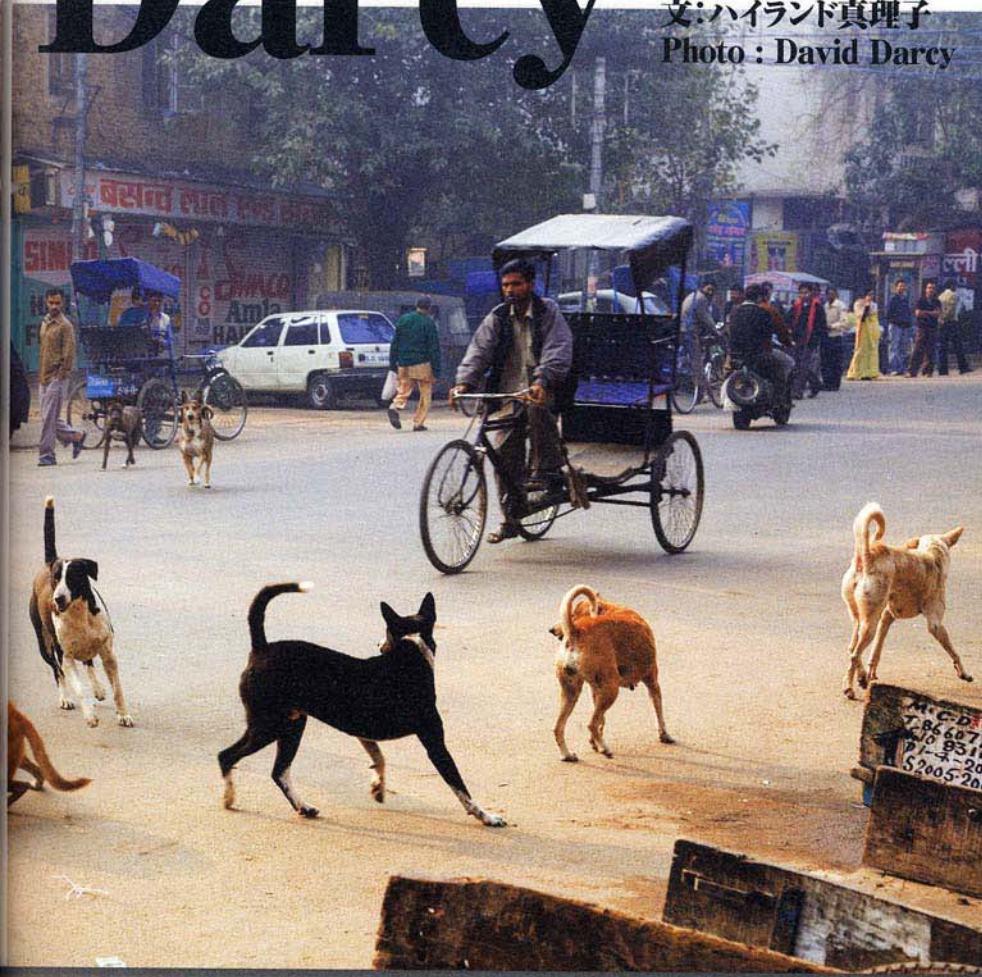


# Darcy

文:ハイランド真理子  
Photo: David Darcy



デヴィッド・ダークシー、  
インドに行く

デリーのドッグ・ファイト/Dog fight in Delhi:犬たちのケンカ、ドッグ・ファイトが始まる。2頭がケンカしていると、付近の犬たちが瞬く間に集まってくる。



ジョーパールの保健所/Jodhpur pound dogs:ジョーパールの道で捕獲された犬たちは、捕獲されても誰も引き取りには来ない。引き取る金がないのだ。胸が痛む光景であった。



シェルターにて/Dogs in Shelter:デリーのシェルターを訪ねたときのこと。2頭の捨て犬たちに出会う。もっとも、捨て犬といっても、彼らはラッキーにも近所の人たちに世話をされているようだ。

今

や世界的に有名な犬の写真家であるデヴィッド・ダーシーが、「ヴェッツ・ビヨンド・ボーダーズ(VBB/国境なき獣医師団)」の要請でインドに渡ったのは昨年の初めのこと。国境なき獣医師団とは、オーストラリアの獣医師たちが、獣医療という分野で、社会貢献をしようと、2003年に作られた団体です。アジア太平洋地区で、野良犬たちに狂犬病の予防注射をしたり、無駄な命をなくすために去勢手術をしたり、開発途上国の獣医師たちの教育を補助したりしています。

デヴィッド・ダーシーは、彼らがボランティアを行っている地区の犬たちの写真を撮りに出かけました。彼は、日本を初め、世界中で犬の写真を撮っていますが、インドは初めて。シッキムの地区の北東にあるガントクという街に10日ほど滞在した後、インドの北部を写真を撮りながら移動しました。それから、タージマハールで有名なアグラへ。そしてデリーへ。およそ1カ月の旅でした。

「想像を絶するような経験だった」と、彼は語ります。「命と死が同時に存在する、まったく予想もつかない世界だった」と。「車やトラックがびゅんびゅん通る道を犬たちがたくさん歩いている、大丈夫なのかと、ハラハラして見ていた」。

実際、町には傷を負っている犬たちが大勢いました。人に飼われて大切にされている犬たち。そうかと思うと、捨てられ、あるいは人に飼われずに生まれて生きている犬たち。野良犬たちに、子どもが石を投げ、虐待していたことも…。「目を背けたくくなるような光景だった」。

野良犬たちは、野菜、パンなど人々が捨てた食べ物を漁ります。もっとも、それは、牛でも、豚でも、山羊でも同じこと。カメラを向けた瞬間、その犬が死んでいく。そのような瞬間を何度も経験しました。助けることもできない。デヴィッド・ダーシーの中に無力感が広がりました。「これまで、生きる意志をもった幸せな犬たちを、僕は写真にしてきましたからね」。

「でも、ヴァラナシという村に行ったときのことです。老犬がよろよろと道を横切っていました。と、一人の老人がその犬のところにやってきました。自ら大変貧乏そうな老人が、餓えているであろう、その犬に食べ物をあげて、犬の頭をなでて立ち去りました」。インドに来てから、悲しいことをたくさん目撃した彼の心の中に光がさした瞬間でした。

オーストラリアに戻り、自分の犬たちも含めて元気で幸せに走り回るオーストラリアの犬たちを見ながら、彼は、インドの犬たちのことを思い出していました。そして、またあそこに戻りたいと思ったのだといいます。「なぜなのでしょう。あの絶望の世界にいて、自分が生きているような気がするのです」。

インドの犬たちは、彼自身も、写真家としてのデヴィッド・ダーシーも、完全に変わってしまいました。昨年オーストラリアでは、彼がインドで撮影した写真を集め、写真展が開催されました。写真の前で何人もの人が立ちどまり、泣いていたといいます。

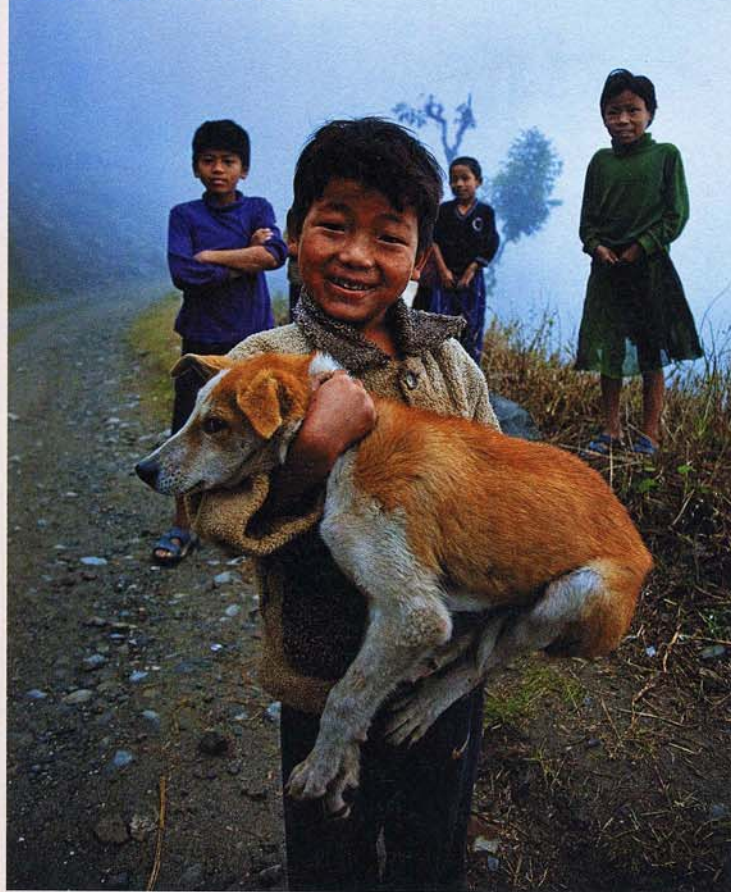
# David in INDIA

「想像を絶するような経験だった  
カメラを向けた瞬間、犬が死んでいく」



デリーの野良犬たち / Street dog in Delhi: インドで出会った最初の犬。大変フレンドリーで、離れ難かった。実は、それから会ったインドのほとんどの犬たちは人を恐れていた。彼だけは別だった。

# David Darcy in INDIA



村の犬／Community dogs:VBBのドッグ・キャッチャーたちと山間を歩いて  
いるときのこと。シッキム語で叫ぶと、村中の人たちが犬を連れて出てきた。

「なぜなのだろう  
あの絶望の世界にいると  
自分が生きている  
実感があるのです」



ケージの犬たち／Dogs in rescue truck:VBBの獣医師  
たちは、野良犬たちを捕まえて、病院に連れていき、去勢  
手術をする。シッキムでは、栄養不良の犬たちが多い。



David Darcy ● デヴィッド・ダーシー  
1972年、オーストラリア、NSW州ブルー  
マウンテンズ生まれ。14歳のときに初  
めてカメラを手にして19歳のときまで数々  
の写真展で受賞。その後、ほかの仕事  
を経て犬専門のプロの写真家に。現在  
までに3冊の本を出版、オーストラリア  
でベストセラーとなる。



憩いの場にて／Relaxation spots:ジョバールの犬たちの避難場所はショッ  
プの前。ラッキーな犬たちは、食べ物屋の前に陣取り、おこぼれにあずかる。